



国際シンポジウム「先住民観光の挑戦」

International Symposium: A journey to break new ground in indigenous tourism

カナダ先住民およびアイヌを代表するアーティストやリーダーたちの対話を通して、文化実践およびエンパワーメントの機会としての観光の可能性を考える

Enhance the significance of indigenous tourism, promote deeper understanding and interest, and think about a future symbiotic society

2023年9月14日(木) 13:00-17:00

Date: September 14, 2023 (Thu.), 13:00 to 17:00

定員/200名 参加費無料

※このシンポジウムにはどなたでもお申込みいただけます



事前申し込み
コチラから

会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 共同講義室103(札幌市北区北10条西7丁目)

言語：日本語／英語 ※逐次通訳対応

Venue: Room 103, Humanities and Social Sciences Classroom Building, Hokkaido University (kita10 Nishi7, Kita-ku, Sapporo)

Language: Japanese/English (consecutive interpretation provided)



Jim Hart



Christian White



April White



Andy Everson



Jesse Brillon



藤戸康平



関根真紀



野本正博

定員/200名 参加費無料

国際シンポジウム「先住民観光の挑戦」

会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 共同講義室103(札幌市北区北10条西7丁目)

プログラム

13:00-13:10

<開会挨拶>

- ◆ 半藤将代(カナダ観光局) / ◆ 村木美幸(アイヌ民族文化財団)

13:10-14:10

<基調講演>

『カナダ先住民観光の意義と未来』

- ◆ キース・ヘンリー / Keith Henry (カナダ先住民観光協会会長兼CEO)

14:15-15:00

<講演>

『カナダ西海岸の先住民観光の取り組み事例』

- ◆ ジスガング・ニカ・コリソン / Jisgang Nika Collison (ハイダ・グワイ)
- ◆ アンディ・エバーソン / Andy Everson (コモックス)
- ◆ エリン・ブリロン / Erin Brillon (コモックス)

15:05-15:50

『アイヌ文化伝承と新たな取り組み事例』

- ◆ 関根真紀(アイヌ工芸家 / 平取)
- ◆ 藤戸康平(アイヌアート彫刻家 / 阿寒)
- ◆ 野本正博(民族共生象徴空間運営本部副本部長 / 白老)

<注意事項>

※スケジュールは予告なく変更する場合がございます。
 ※プログラム進行の妨げや、登壇者、他の来場者の迷惑になると主催者が判断するような言動があった場合は、強制で退出頂く可能性がございます。

16:00-17:00

<パネルディスカッション>

『先住民の文化実践およびエンパワーメントの機会としての観光のあり方』

「文化伝承」と「観光」をどう結びつけるか。
 自分たちの物語を分かち合う観光のかたちとは。
 未来の共生社会をつくる観光の力などについて対話を深めます。

【モデレーター】岸上伸啓(国立民族学博物館)

- ◆ ジム・ハート / Jim Hart (ハイダ・グワイ)
- ◆ クリスチャン・ホワイト / Christian White (ハイダ・グワイ)
- ◆ エイプリル・ホワイト / April White (ハイダ・グワイ)
- ◆ ジスガング・ニカ・コリソン / Jisgang Nika Collison (ハイダ・グワイ)
- ◆ アンディ・エバーソン / Andy Everson (コモックス)
- ◆ エリン・ブリロン / Erin Brillon (コモックス)
- ◆ 関根真紀(アイヌ工芸家 / 平取)
- ◆ 藤戸康平(アイヌアート彫刻家 / 阿寒)
- ◆ 野本正博(民族共生象徴空間運営本部 副本部長 / 白老)



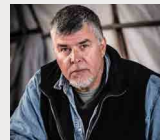
キース・ヘンリー(Keith Henry)
 カナダ先住民観光協会(ITAC)
 会長兼 CEO

メイティ(先住民とヨーロッパ人の間に生まれた子孫)としてマントバ州トンプソン生まれ。連邦、州、業界と連携し、先住民観光促進の指揮に当たっている。



ジム・ハート(Jim Hart)
 ハイダ族出身アーティスト
 (カナダBC州オールド・マセット)

カナダ北西海岸地域のアーティストとしては屈指の確固たる地位を確立。カナダ北西海岸先住民アーティストとしてトップクラスの美しき手の込んだ作品を手がける。



クリスチャン・ホワイト(Christian White)
 ハイダ族出身アーティスト
 (カナダBC州オールド・マセット)

1962年ハイダ・グワイ生まれ。ハイダ族出身アーティストとして45年間活躍。長年の間にカヌーやトーテムボールの制作などさまざまなプロジェクトを実施した。



エイプリル・ホワイト(April White)
 ハイダ族出身アーティスト
 (カナダBC州オールド・マセット)

ハイダ・グワイ生まれ。この群島に数十人の親族が暮らし、全員が絵画や彫刻、トーテムボールづくり、仮面の彫刻などの先住民アートに関わっている。



ジスガング・ニカ・コリソン(Jisgang Nika Collison)
 ハイダ・グワイ博物館
 (カナダBC州スキディゲット)

ハイダ族のカーヤール・ラーナス・クラン集団の出身。キー・イルナゲイにあるハイダ・グワイ博物館のエグゼクティブ・ディレクター兼芸員。



アンディ・エバーソン(Andy Everson)
 コモックス/クワクワカワカワ族出身
 アーティスト(カナダBC州コモックス)

1972年BC州コモックス生まれ。祖父は、コモックス族の酋長を務めた故アンディ・ブランク。祖母の強い影響でコモックス族とクワクワカワカワ族の双方の伝統を積極的に守り続けている。



エリン・ブリロン(Erin Brillon)
 ハイダ族出身アーティスト
 (カナダBC州コモックス)

ハイダ・グワイ生まれ。銀細工などのジュエリーアーティストであり、先住民アート画廊経営者。現在、BC州先住民観光協会理事。



関根真紀(せきね まき)

1967年平取町二風谷生まれ。子どもの頃から二風谷にて家業の民芸店を手伝い、アイヌ工芸に魅力を感じ、16歳で木彫をはじめ、その後、アイヌ刺繍やアイヌ文様デザインなど、さまざまなアイヌ工芸に関する制作活動を続ける。



藤戸康平(ふじとこうへい)

1978年阿寒町生まれ。民芸品店「熊の家」を営み、Tシャツや帆布製品などのオリジナル商品を多数展開。アイヌの先人たちがそうだったように、「使うモノに愛情を込めて彫る」ことを制作の基本にしなが、アイヌ文化を世界に紹介している。



野本正博(のともさきひろ)

1963年北海道白老町生まれ。1999年スミソアン国立自然史博物館「AINU Spirit of Northern People」展示製作。2007年アイヌの板織舟「イタオマチ」製作。現在、ウゴボイ 民族共生象徴空間運営本部、副本部長兼文化振興部長。